

令和5年度私費外国人学部留学生選抜問題「出題の意図」

本年度の問題は、鹿児島県が作成した「鹿児島すこやか長寿プラン2021」から引用した資料を読み解くという問題です。ここから鹿児島県の人口が減っている割に高齢化率が上昇していること。要介護度の原因についてグラフなどを見る力を見たいと思います。全体では認知症が最も多いこと、男性では全国と同じく、脳卒中が最も多く、女性では骨折・転倒、認知症が多くなっていることなどを最低でも読み取れることを期待した問題です。外国人留学生への問題なので、単純に全国との数字の比較する学生がいるかもしれませんが、内容が間違いなければある程度加点したいと考えます。

問題では、介護度の重さなどは提示されていませんが、介護度重度なものは認知症が最も多く、軽度介護度は骨折転倒、老化による衰弱、関節疾患などが多く含まれる傾向にあります。全国に比較して高齢化率が高い我が県では、より重症度の高い高齢者が多いことや、高齢化率の背後には介護することが期待される若い世代の都市部への流出などが背景にあります。そこまで言及することができれば、より本学の学生として望ましい学生だと思えます。

作成にあたり、本試験の合格者は通常の学部教育を日本の高校を卒業した学生と一緒に受けることになることから、最低でも日本の高校1年生レベルの図を読み解く力を図りたいと思いました。また、あえて800字近くの文章を記載してもらうことにより、意見を日本語で論理たてて構成する力、日本語の文法力も確認したいと考えました。